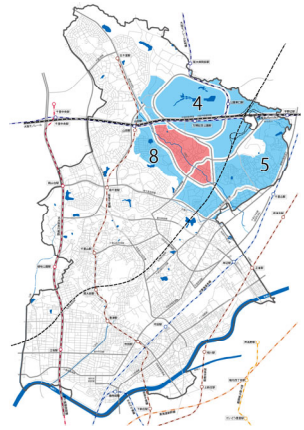
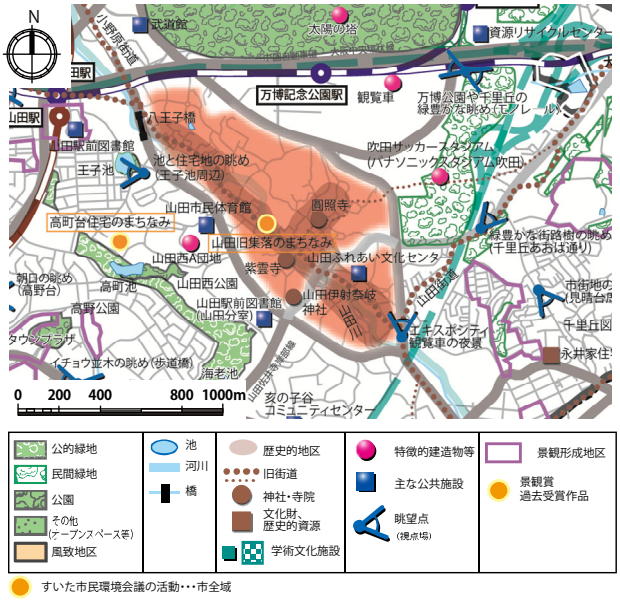
景域9　山田東界隈





景観特性

旧街道や歴史的資源が残るまちなみと潤いのある住宅地

地形

山田川がまちを縫うように流れており、橋の上から川の流れを感じることができます。

歴史

旧小野原街道と旧山田街道の結節点に位置しており、かつて「山田千軒」と称されるほどに建物が軒を連ねていました。旧山田街道沿いや東側に広がる集落内の道などのゆるやかに曲がった道に沿って、屋敷の門と高い板塀、大きく重厚な瓦屋根が見えます。千里丘陵の中間に位置する高庭山には千里ニュータウンを含む地域を守護する山田伊射奈岐神社が鎮座しています。

土地利用

住宅を中心とした土地利用ですが、集合住宅をはじめとする開発により、景観の変化がみられます。近年では、昔ながらの建物を活かしてリノベーションされた店舗等もみられます。

都市活動・暮らし

旧街道の歴史に根差した、地域コミュニティが営まれ、市指定有形文化財である山田伊射奈岐神社本殿で行われる祭りなども地域の歴史的景観の重要な要素となっています。

歴史を感じるまちなみ

山田伊射奈岐神社

景観まちづくり方針

旧集落や旧街道、河川が一体となった歴史を感じさせる景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

○緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
○斜面緑地の保全に努める。
○樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
○河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
○護岸や橋などのデザインを工夫する。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

○生垣や板塀、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
○地形になじみ、集落の景観に調和する建物づくりに努める。
○落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気の感じられる空間の創出を図る。
○敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
○旧街道沿いの歴史を感じさせるまちなみをまもり、はぐくむとともに、歴史の径（みち）の整備などにより、他の歴史的資源との連携を図る。
○屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
○案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
○伝統的な意匠や建築技法、生活様式などの記録や伝承に努める。
○連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、沿道の景観づくりに努める。
○祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
○眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

○壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
○沿道施設と住宅地との調和を図る。
○街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
○沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
○電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
○魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
○景観資源をまもり、はぐくむ。
○田畑などの保全と景観の演出に努める。
○夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
○地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
○公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域　**景域４，５，８，45**